

# 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

2017年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	1		共有のスペースと個別に過ごすスペースがあり、児童の活動状況を見ながら調整している。利用定員に対しては十分なスペースがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			児童指導員・保育士・作業療法士を含め6名の支援員を配置しており、個別対応が必要な児童に対する支援が十分可能である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		出入り口にスロープを設置しているが、入口の広さが十分ではないため、出入りの際には配慮が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			日々の打ち合わせにて、利用児童の状況を確認した上で支援の振り返りを行っており、全支援員が参画することで、情報の共有、改善が来ている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		毎年、保護者へのアンケート調査を実施し、希望など実態を把握することで、業務改善を行っている。まだ、課題とされる点もあり、熟慮しながら進めていく必要あり。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	外部評価は実施出来ていないため、今後実施していくよう改善していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			全支援員が年数回の研修を受けており、資質向上に努めている。
適切な支援の提...	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			利用児童の日々の状況を十分にアセスメントした上で、保護者との定期的な面談を行いけい計画作成をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			日々の活動プログラムについては打合せの中で話し合い立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	4		季節ごとの行事の提案や日々の振り返りを通して活動内容を提案している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			長期休暇中は、平日の短時間では提供することが難しい外出や調理活動など工夫して設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			活動内容に偏りがないよう、個別・集団活動の両方を組み合わせた活動を提供し、集団活動が苦手な児童に関しても、関わり方を工夫しながら活動提供をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			日々の活動内容や利用児童の状況について細やかに打合せを実施し、全支援員が共通理解し支援にあたるよう努めている。

供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4		支援終了の時点で全支援員での振り返りが難しい場合、全支援員が参加できる翌日朝の打ち合わせにて支援の振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			全支援員にて日々の記録を行い、記録に基づいた気付きなどを話し合い、支援の改善に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			定期的なモニタリングを行い、全支援員にて話し合い、見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	4		児童によっては、活動が固定しがちであるため、基本活動を振り返りながら、活動の幅を広げていく必要がある。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			基本的に児発管が出席するが、日頃より支援員間で情報共有に努めている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			学校への迎えの際に担任教諭との情報交換を行い、児童の状況によっては支援について話し合いを行っている。また、連絡調整も必要に応じて適宜行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5		利用契約の際の面談において、保護者を通じて就学前の状況について聞き取りをしている。今後は関係機関とも積極的に情報交換を行うよう改善していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5		相談支援事業所を介して、情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			療育支援センターにて実施されている研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			7	交流の機会は設定できていないため、保護者や利用児童の意向を確認しながら検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			日々の連絡帳や保護者の迎えの際に、活動の様子や気付きなどをお伝えし課題となる点について共通理解が出来るよう努めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5		個別面談の中で保護者に対して助言を行いながら支援を提供するよう努めている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者の迎えの際や個別面談において、育児の悩みや相談を受け、必要に応じて助言している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7	保護者同士の連携については事業所として取り組みが不十分であるため、保護者の希望を聞き取り今後の支援の形を検討する必要がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			季節ごとに定期的な会報を発行し、情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			個別のスケジュールやカード等を活用し、意思疎通の配慮をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5	母体となるめぐみ園の行事には地域住民を招待しているが、事業所としては実施できていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4		面談時にマニュアルの説明をしているが、説明が不十分なものもあるため、全てのマニュアルについて丁寧な説明を実施して必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			園内外の虐待防止に関する研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			身体拘束については、話し合いのもと決定し、保護者への説明を行い個別支援計画書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	7			アレルギーを持った児童については、家庭・学校・医療機関との連携体制をとり、Dr. の指示書に基づく対応を取ることを周知している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			